

卒業満五十五年 高弥会の集い

高十三回 古希の会

えんま市を控えた24年6月14日、高弥会(高8回卒)の同期会が開かれた。参加者は50名、会場は海を臨む東の輪の「旅館川」。



「故郷の訛り懐かし高13回の宴の中にそを開きに行くと、そんな思いで集まった向きも多かった。高13回卒の古希の会幹事長・伊藤康昭が、昨秋ストロリタ(松島)で行われた66人が参加した、会場に貼り出された卒業時の拡大写真と見比べながら、52年ぶりの仰天再会といった名場面・珍場面続々、各アブルでは、柏刈弁と移住先弁が入り乱れての歓談や認知症の講話の花が咲いた。「おら組は何人か来て来たか分からん、でのおとのめがさ(即反応、卒業時のクラス毎に壇上で記念のスナップ写真を撮る。皆々を満悦でハイ、チーズ、最多人数を誇ったのは3年7組、66人の全体写真の顔と名前も一致せよというところになり、出来上がった写真を回覧しながらM君が孤軍奮闘、後日並び順氏名表を送付し、これまた好評。宴もたけなわとなりみんなが舟木一夫の「高校三年生」そのものにタイムスリップ。その空気を引き継ぐたまたま二次会では、18歳の若者の酒盛り状態。三次会と続々、翌日ゴルフをした会員16人。高13回会員と合わせて富士登山とく、その心は、高年齢(高歳)ですが一度は挑戦したい(駄作)。盛會を支えてくれた幹事のHMS三人官女に熱烈感謝 (小林和徳)



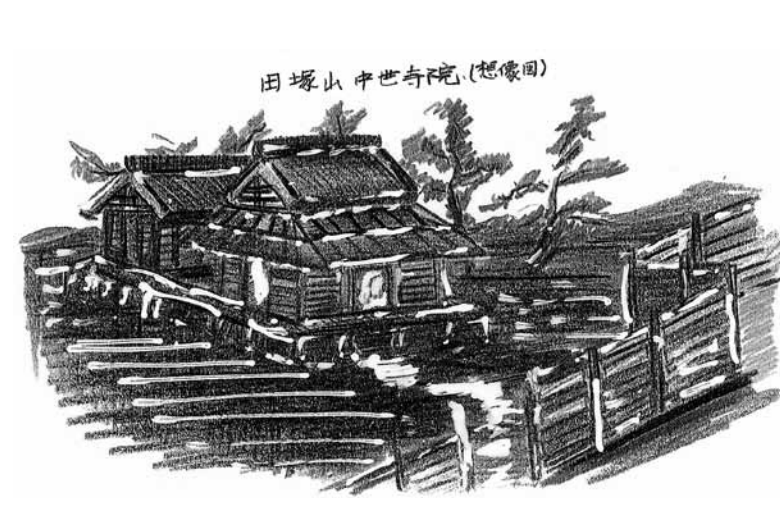
「福崎は越中国」

福井県、石川県、富山県、新潟県は律令体制のもとでは、北陸道と呼ばれ古事記、日本書紀では「高志」、「古志」と総称されていました。当時の越の北限は阿賀野川まででした。この越の国を三分割した7世紀終りのころの越後は阿賀野以北、山形県南部で

柏崎郷土物語(6) 岩下 正雄

柏崎の市街地は鵜川、鯖川によって運ばれた堆積層とその上に吹き飛ばされた砂の上になっています。この海岸からの飛砂と沿岸流によって両川の河口が変化し、せき尾、谷根、河内をへて東

この道をたどってそれの時代の歴史をみてもみましよう。河内あるいは大河内については、応仁年間(一四六〇年代)河内国から落人がこの鵜川奥に来て、鋳物を業としていたといわれています。のちに大窪村(大久保)に移り住みました。原族代表される大窪村は現在にその技を伝え、口ウ型鋳造として有名です。左



東京柏会総会の報告

平成二十四年度 東京支部総会盛況!

去る七月二十五日、有楽町東京国際ビル八階・日本倶楽部において東京支部の総会が開催されました。まず、閉会の挨拶に立たれた近藤健彦会長(高12)から歓迎の挨拶の後、今回の総会にあたり矢代隆義氏(高20)には会場の手配を、西川孝純氏(高19)には「こころ」の編集を、病氣療養中の松浦尚義氏(高19)の替わりをお願いしたとを、棚岡滋氏(高20)には「この総会の後に計画している「ヤングの会」の主権を貴ったことを紹介されました。会計報告・監査報告等が行われ、乾杯を内山知也氏(中40)にしました。

今回のミニ講演会は、渡邊陽介氏(高30)「日本共同通信社中国総局長が語る中国」について、王田新会長(高16)からは、本部総会の出席者の数が同窓会の活性化を示している、と考えているとし、因みに長岡高校は約八百人から千人が、高田高校は約四百人から六百人の参加があると報告しました。また、五年ごとに発行している名簿について、賛否はあるが名簿を保持しては本同窓会は存在しないと強調されました。ついで、楠田基三さん(高44)から古本興業の公式ホームページの芸人イラスト展示について、お知らせと紹介がありました。

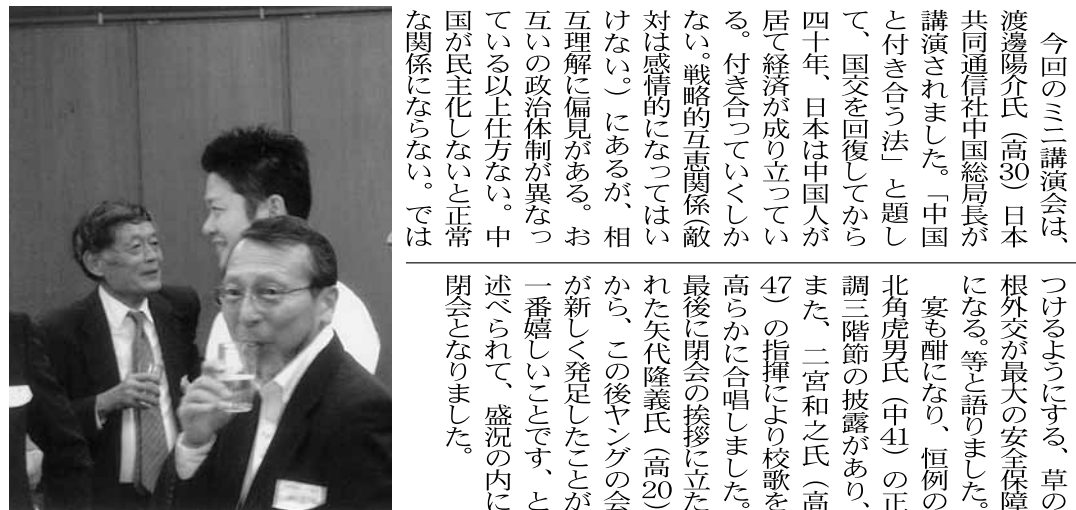
どうしたらよいか。日常的に多くの人達による外交で改善する、国民外交と、これからはインターネットによる、政治的ではなく一般の人々を味方につけるようにする、草の根外交が最大の安全保障になる、等と語りました。寛も耐になり、恒例の北角勇氏(中4)の正調三階階の披露があり、また、二宮和之氏(高47)の指揮により校歌を高らかに合唱しました。最後に閉会の挨拶に立たれた矢代隆義氏(高20)が新しく発足したヤングの会が、この後ヤングの会が新しき発足したことが一番嬉しいことだと述べられて、盛況の内に閉会となりました。

谷崎潤一郎など日本を代表する多彩な文人たちとの交流も紹介する計画となっている。キーン先生は高齡だが、健康に12年日本国籍を取得したことで全国的な話題となった。日本名は「鬼怒鳴門」。臈儀や県立歴史博物館副館長として公益法人の組織については精通している吉野さん、しかし「キーン先生は世界レベルの人でその研究分野は想像を絶する深さと広がりがある」と話し、そのセンターの開設のことで

第15回 卒業生の皆様へ 卒業50周年記念同期会のご案内

皆さまには益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。さて、この度、標記の同期会を下記のとおり計画いたしましたのでご案内いたします。皆さま方、多数のご出席をお待ちしております。

- とき ●平成25年5月25日(土) (受付16:00~/同期会17:00~20:00)
ところ ●岬ひとひら(株)岬館 〒945-0853 柏崎市番神2-10-39 Tel 0257-22-1237
会費 ●10,000円(当日ご持参ください。)
集合・解散・宿泊について (1)現地集合・現地解散とします。(2)宿泊は、各自で予約してください。



ドナルド・キーンさんと柏崎

- 1962年 大英博物館で古浄瑠璃「越後国柏崎弘知法印御伝記」台本が鳥越文蔵氏により発見される
2006年10月 柏崎飯塚邸にて、市民ボランティアによる上原氏を擁護する「柏崎飯塚邸から世界への発信……義太夫と馬頭琴のコレレーション」上演
2008年9月 柏崎コレクションピレリッジ痴癡の家に於いて、柏崎ゆかりの古浄瑠璃を復活初演する会主催により、巻の巻が復活再演
2008年10月 ドナルド・キーン氏文化勲章受章
2009年6月 市民のボランティアにより、300年の時を経て古浄瑠璃の初上演が地元元(株)ブルボンの協賛を得て柏崎産業文化会館にて実現する。
2010年9月 柏崎産業文化会館で、新潟県と柏崎市の産業官民連携の実行委員会による、キーン教授と鳥越教授の講演会が行われる。
2010年10月 東京浜離宮朝日ホールにて古浄瑠璃「越後国柏崎弘知法印御伝記」がドナルド・キーン氏実行委員長のもとで全編公演される。
2010年12月 新潟市主催の「安吾賞」受賞。
2011年3月 (3・11)東日本大震災発生、原発放射能漏れにて多大な被害となり世界を震撼させる。大震災を觀て「いまこそ私は日本人になりたい」日本国籍取得を表明。
2011年9月 1日、日本に永住のため来日
2011年12月 ニューヨークの居室家具、書籍等(株)ブルボンに寄贈(ドナルド・キーンセンター構想発表)
2012年3月 8日ドナルド・キーン氏 日本国籍を取得(日本名:鬼怒鳴門)

佐藤塗料株式会社
代表取締役 佐藤裕幸 (高20)
代表取締役 佐藤信義 (中39)
柏崎市駅前二丁目一番四三三号

越後タイムズ
編集発行人 柴野毅 (高22)
TEL 0256-2396 FAX 0256-2395

柏崎日報社
代表取締役 山田明彦 (高18)
柏崎市津波町二番二二二号

新沢歯科医院
新沢秀樹 (高22)
柏崎市津波町二番二二二号

高鳥技術士事務所
代表取締役 高鳥勉 (中41)
TEL 0256-2396 FAX 0256-2395

原酒造(株)
代表取締役 原吉隆 (高28)
柏崎市新橋五十一

日本メッキ工業株式会社
代表取締役 関矢浩章 (高23)
TEL 0256-2396 FAX 0256-2395

株式会社植木組
代表取締役 植木康之 (高15)
代表取締役 植木義明 (高23)
新潟県柏崎市新橋二番八号

株式会社阿部建設
代表取締役 阿部尚義 (高35)
TEL 0256-2396 FAX 0256-2395

株式会社阿部建設
代表取締役 阿部尚義 (高35)
TEL 0256-2396 FAX 0256-2395

新湯医・歯学同窓会
代表取締役 阿部尚義 (高35)
TEL 0256-2396 FAX 0256-2395

高島内科胃腸科
代表取締役 高島憲一郎 (高13)
TEL 0256-2396 FAX 0256-2395

会田内科医院
代表取締役 会田恵 (中41)
TEL 0256-2396 FAX 0256-2395

高桑内科医院
代表取締役 高桑正道 (高18)
TEL 0256-2396 FAX 0256-2395